

■ □ ■ 50期 ■ □ ■

環境報告書

Environment Report



目次

1. 会社概要
 - (1) 企業理念
 - (2) 会社概要
 - (3) 事業概要
2. ごあいさつ
3. 環境方針
4. 環境管理体制
 - (1) 環境保全推進組織
 - (2) 工場、オフィスの環境保全活動
5. 50期の取り組み
 - (1) 活動経過報告
 - (2) 社会とのかかわり
 - (3) 環境教育
 - (4) 主な活動の実績
6. 今後の取り組み

編集方針

株式会社カナエの50期環境報告書は、弊社の環境保全活動の現状を多くの方々に知っていただきたいという目的で作成いたしました。

報告書の対象となる事業所は、本社、東京支店、名古屋営業所、富山営業所の4事業所と大宮、高倉、高殿、栃木工場の4工場です。

報告書作成に当りましては環境省発行の「環境報告書ガイドライン（平成15年度版）」を参考にしましたが、まだまだ全ての項目を記載することはできておりません。

今後、さらに充実した報告書作成を目指してゆく所存です。

対象期間

2004年10月21日～2005年10月20日

【報告書に関するお問合せ先】

株式会社カナエ 経営企画部

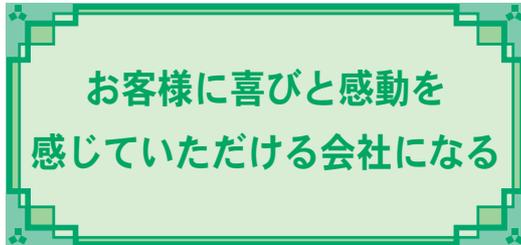
Tel.06-6954-7151 Fax.06-6954-7196

1 会社概要

(1) 企業理念

企業としてのあり方を示す統一理念として「スローガン」、「企業理念」を制定しています。

●スローガン



●企業理念

- 顧客第一主義に徹する。
- 健康と豊かな生活を創造し、社会に貢献する。
- 情報と知恵を活かし、顧客満足を創造する。
- 社員の人生の充実を重んじ、希望と誇りと働き甲斐のある企業を目指す。
- 地球環境保全をベースとした企業活動を行う。

(2) 会社概要

商 号	株式会社 カナ工
設 立	昭和31年3月29日
資 本 金	3億5,381万4,600円
代表取締役社長	岡本 邦昭
従 業 員 数	305名(平成17年10月現在)
売 上 高	198億円 (平成17年10月)
営 業 品 目	包装資材・包装機械の開発販売、包装受託加工

本社、支店、営業所、工場所在地

本 社	大阪市旭区高殿4丁目16番11号	TEL06(6954)7151
東 京 支 店	東京都中央区八丁堀4丁目11番5号	TEL03(5566)4811
名古屋営業所	名古屋市北区田幡2丁目5-12	TEL052(915)3371
富 山 営 業 所	富山市布瀬町南2丁目10番14	TEL076(492)8707
流通センター	大阪市城東区今福西6丁目9番27号	TEL06(6932)6231
大 宮 工 場	大阪市旭区高殿4丁目15番12号	TEL06(6954)7160
高 殿 工 場	大阪市旭区高殿4丁目8番22号	TEL06(6954)7160
高 倉 工 場	大阪市都島区高倉町3丁目14番13号	TEL06(6928)3171
栃 木 工 場	栃木県真岡市寺内599-4	TEL0285(80)1881
愛 媛 工 場	愛媛県四国中央市川滝町下山	TEL0896(59)4326

(3) 事業概要

包装材料販売

トータルな視点が生む独自のパッケージング対応

医薬品をはじめ、カナエの多様な事業分野におけるお客様のニーズは多岐にわたります。カナエはそのさまざまなニーズに対し、包装内容物に最適な包装材料の設計から、機能形態、衛生安全性、さらには生産システム適性までの包装の全プロセスをトータルな視点でとらえ、ユーザーの意向を確実に解決する的確なパッケージング対応を行っています。

国内約500社の各種メーカー、コンバーターとのネットワークにより、ラミネートフィルムやPTP(プレスルーパッケージ)用各種シート、アルミ箔、化成品など、多彩な包装材料を安定供給。また開発部門を有し、国内外の最新情報と長年培った技術・ノウハウを駆使した新規包装材料・形態の企画提案でカナエ独自の付加価値を生み出しています。

さらに包装における機能や経時変化などの品質評価に関する各種データの収集・分析・評価のための専任スタッフと設備を整えると同時に、各素材メーカーとの連携による技術開発を推進し、開発・提案型企業としてのさらなる充実を追究。

人にやさしい包装材料及び形態の開発にも力を注いでいます。



包装加工

独自のノウハウを生かしたコントラクト業務

お客様から委託を受け、包装加工を行うコントラクト・パッケージ(受託包装)と、最終商品まで仕上げるコントラクト・マニュファクチャリング(受託製造、OEM)。

これらのコントラクト業務では、カナエの各種業態許可を得た技術力、品質管理力、生産能力が最大限に活用されています。

分野ごとに独立した包装加工工場を保有し、最新の設備と厳しい品質管理のもと、PTP包装、ストリップ包装、三方・四方シール包装、スティック包装、特殊包装など多種多様な形態の包装加工に対応。

アウトソーシングが進む医薬品業界のニーズにいち早く応えて、2000年には医薬品包装加工受託専門である栃木工場を新たに設け、さらに製剤からの一貫製造の受託にむけて、その環境整備と設備の充実にも取り組んでいます。

コントラクト・マニュファクチャリング(受託製造)では主に坐剤やウェット・ティッシュ製品、ゲルシート製品などの製造を行っています。

とくに坐剤においては、わが国における坐剤包装のパイオニアとして、非常に高い評価をいただいています。



包装機械販売

包装機械・システム構築からのアプローチ

各種包装材料の企画と販売、コントラクト業務による技術と経験を活かして、メーカーの枠にとらわれない「使用する立場、視点」からの提案をおこなえるのがカナエの包装機械事業の大きな特長です。

まず、技術開発部において、フィルム特性資料、使用包装材料との適性、内容物の特性そしてコントラクト事業での経験・ノウハウを十分に検討、機械と包装材料に関する専門スタッフが参加して、システムの企画と設計をおこないます。

こうして医薬品分野をはじめ、さまざまな産業分野で、加工・包装工程を主体とした製造工程に最適なシステムを提案。

有力包装メーカーの包装機械の販売とともに、独自に企画・設計した包装機の製作にも取り組み、システム・エンジニアリングにおけるトータルサポートを実現しています。

多品種少量生産に対応したフレキシブルな全自動プリスター包装機MWシリーズ、成形から充填、シール、打抜きまで自動のできるインライン生産システム両面アルミ成形機DFS-280AL、医薬品包装に最適で、さまざまなラインに対応可能な次世代デジタル印刷機CSATなど、機械専門メーカーとは一線を画した独創的な包装システムは、総合包装企業カナエならではの強みです。



2 ごあいさつ

地球温暖化、森林の減少、廃棄物の増大等さまざまな環境問題に改善の兆しが現れてきたという実感は未だにありません。

このままでゆくと子や孫の代を待たずに、我々の時代に環境破壊による種々の現象が現れてくるのではないかという危惧さえ感じざるを得ない状況ではないかと思えます。

しかし、各国とも政府を初め、行政、NPO団体等が地球環境保全のための活動を実施しており、その効果が早速現れるのを期待してやみません。

我々、企業は企業活動を行う中でかなりの環境負荷を地球に与え続けています。

この環境負荷を如何に低減してゆくか、多いに考え、実践してゆく責任があるのではないかと思えます。

弊社も企業として、この責任を果たすため2002年以降毎年外部機関による審査を実施しており、ISO14001規格に則った環境マネジメントシステムを確立し、運用を行っています。

まだまだ、十分とは言えませんが、弊社の環境マネジメントシステムが継続的に改善されていると評価されたことは多いに喜ばしいことと考えております。

弊社は包装資材の販売、包装機械の販売並びに受託包装加工を主たる業務としていますが、49期環境報告書でも述べておりますが、包装というものは内容物保護機能が主機能である為内容物が取り出されると不用物となってしまいます。

この不用物を廃棄物とせず、再び、有効物として活かしてゆく工夫をすることが包装を主業務とする弊社に与えられた責務と考えます。

もちろん、包装材を極力削減することも同様に大きな責務です。

包装材の削減と環境に負荷の少ない商品の販売・開発は永遠に弊社に課せられた使命と考え、積極的な取組みを行って参りたいと思えます。

本報告書で社内外の方々に弊社の環境保全活動の現状と今後の取組みの姿勢を理解いただければ幸いと存じます。



代表取締役社長
岡本 邦昭

3 環境方針

2005年11月には環境方針を見直し、新たに策定を行いました。

<環境理念>

当社は、<豊かな自然に恵まれた地球>、その環境を永遠に保っていくことが我々人類の果たすべき使命であると自覚し、環境に配慮した製品造りを行い、良き社会の一員として地球環境の保全に努めます。

<行動指針>

1) 総合包装企業として包装材料、包装機械の開発販売並びに受託包装加工を事業としている当社は、地球の温暖化、廃棄物による地球の荒廃等の地球環境をとりまく諸問題を真摯に受け止め、当社の企業活動から生じるこうした環境汚染の発生を予防し、環境への影響を可能な限り減少させるための改善に努力します。

- ①省エネルギーの推進
- ②環境配慮製品の情報提供と開発
- ③廃棄物の削減とリサイクル化の推進
- ④業務効率化等プラス側面への取組み
- ⑤グリーン購買、調達推進

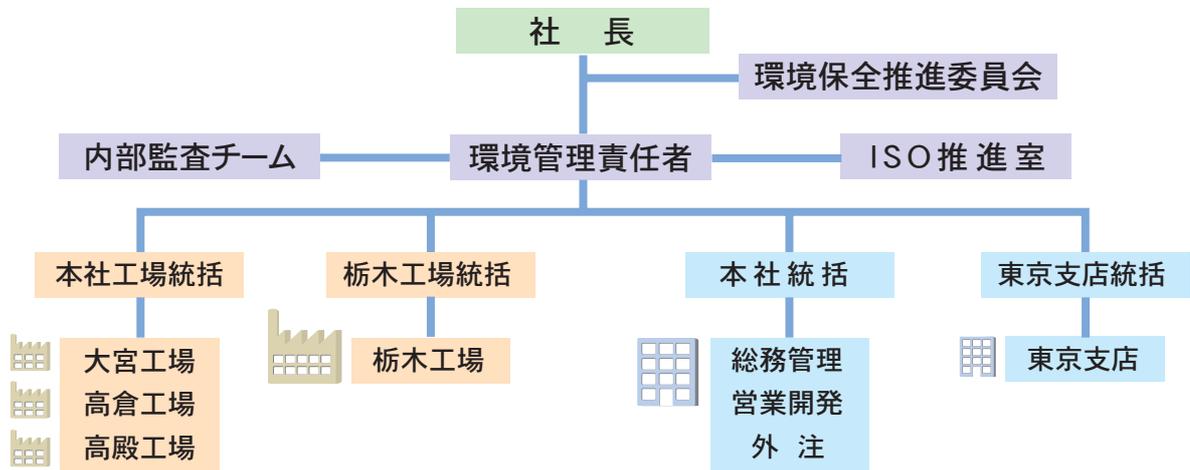
上記事項の改善のため環境目的及び目標を設定し、その実現に向けた改善プログラムを策定、実施します。そして定期的にその達成度を確認し、その見直しを図り、これにより環境保全のため継続的改善に努めます。

- 2) 当社は、事業活動に伴い適用されるあらゆる環境関連の法規制及び当社の同意した環境上のその他の要求事項を遵守します。
- 3) 当社は、この環境方針を全従業員又は当社のために働く全ての人に周知徹底させるために教育啓発活動を実施します。
- 4) 当社は、一般の人からの要求に応じこの環境方針を提供します。

4 環境管理体制

(1) 環境保全推進組織

株式会社カナエは環境保全推進活動を実施するうえでその推進母体となる「環境保全推進組織」を構築しています。



(2) 工場、オフィスの環境保全活動

株式会社カナエの工場、オフィスは50期において次のような環境保全活動を実施しました。

◆ 工場

- 
● エネルギーの削減
 1. 使用電力の削減
 2. 水使用量の削減
- 
● 廃棄物排出量の削減と適正管理
 1. 工場排出廃棄物の削減
 2. 廃棄物の適正管理
 3. 有害・危険廃棄物の適正廃棄
- 
● 法規制順守による環境保全
 1. 騒音規制の順守
 2. 悪臭防止の自主管理順守
 3. 排水の水質規制の順守

◆ オフィス

- 
● エネルギーの削減
 1. 使用電力の削減
 2. ガソリン使用量の削減
- 
● 廃棄物排出量の削減と適正管理
 1. コピー用紙使用量の削減
 2. 不良在庫の削減
 3. 廃棄物の適正管理
 4. 有害・危険廃棄物の適正廃棄
- 
● 環境負荷低減情報の有効活用
 1. 環境負荷低減情報の収集
 2. 環境負荷低減情報の提供
 3. 環境負荷低減商品の開発
 4. 仕入先、外注先の環境負荷低減活動の支援
 5. グリーン調達の実施
 6. 仕入商品の安全性データの整備及び登録
- 
● 法規制順守による環境保全
 1. PCB含有コンデンサの適正管理

550期の取り組み

(1) 活動経過報告

・定期審査

外部機関による定期審査は2005年3月29日から31日まで実施され、改善の機会として7点の指摘を受けましたが、不適合事項はなく、4月8日付けで認証の継続が決定しました。



・環境保全推進委員会の開催

推進委員会の構成メンバーは環境管理責任者、統括責任者(4名)、ISO推進室室長、ISO推進室事務局の計7名です。50期は1、5、7、9月に計4回開催しました。

主な議案は左記のとおりです。

開催月	主 議 案
1月	・50期活動方針、目的・目標、実施計画について ・3月に実施予定の外部審査について
5月	・計画の実施状況の確認 ・定期審査で指摘された改善の機会に対する対応 ・表彰制度について ・ISO14001規格2004年度版の改訂ポイントについて
7月	・表彰制度について ・新規格に基づくマニュアル、規定検証の件 ・環境教育について ・実施事項の運用状況について
9月	・51期全社の実施事項と目標について ・51期に向けての活動状況について

(2) 社会とのかかわり

株式会社カナエは、環境保全の重要性を社会に知ってもらうための活動を積極的に行っています。

●JAPANPACK 2005への出展

2005年10月18日から22日まで、東京ビックサイトにて開催されましたJAPANPACK2005に出展致しました。

環境負荷低減商品を展示し、来場されたお客様に地球環境保全の重要性をPRしました。



JAPAN PACK2005

●環境負荷低減情報提供

2004年2月より毎月、環境に関する情報、環境負荷低減商品を冊子(e情報)にまとめ、お得意先に提供しています。50期は月平均97件、お得意先に情報を提供しました。51期はさらに目標をアップし、月平均300件の情報提供を目指し、活動を実施する計画です。

●環境認証制度説明の開催

弊社のお取引先の環境保全活動支援の一環としてNPO法人「ノウハウ会」とともに、環境認証制度「エコステージ」の説明会を10月と5月に実施し、延18名の方々の参加をいただきました。

今後も継続してお取引先の環境保全活動を支援してゆく計画です。

(3) 環境教育

包装を主事業とする当社は環境に配慮した包装形態、材料等の検討、及び環境配慮商品等の情報収集を目的として「環境包装プロジェクト」を2003年8月に設置し、運営を実施しています。

環境包装プロジェクトでは、環境保全の重要性の認識を目的として年2回、全従業員を対象として「環境包装勉強会」を開催しています。50期は11月と6月の2回開催し、多くの従業員が参加しています。



550期の取り組み

(4) 主な活動の実績

① 電力使用量

部門	達成状況	達成成否
大宮工場	目標値より20%オーバー	×
高倉工場	目標値より7%削減	○
高殿工場	目標値より241%オーバー	×
栃木工場	目標設定のための基礎データ採取	—
本社	目標値より2%オーバー	×
流通センター	目標値より8%削減	○
東京支店	目標設定のための基礎データ採取	—
名古屋営業所	目標値より9%削減	○
富山営業所	目標設定のための基礎データ採取	—

② ガソリン使用量

部門	達成状況	達成成否
本社営業	目標値より8%削減	○
名古屋営業所	目標値より17%削減	○
富山営業所	目標設定のための基礎データ採取	—

③ 水使用量

部門	達成状況	達成成否
大宮工場	目標値より190%オーバー	×
高倉工場	目標値より14%削減	○
高殿工場	目標値より283%オーバー	×
栃木工場	目標設定のための基礎データ採取	—

④ 廃棄物排出量

部門	達成状況	達成成否
大宮工場	目標値より9%オーバー	×
高倉工場	目標値より8%削減	○
高殿工場	目標値より70%オーバー	×
栃木工場	目標設定のための基礎データ採取	—

⑤ コピー用紙使用量

部門	達成状況	達成成否
本社	目標値より3%オーバー	×
製造事務所	目標値より7%オーバー	×
流通センター	目標値より8%オーバー	×
東京支店	目標値より9%削減	○
富山営業所	目標設定のための基礎データ採取	—

⑥ 不良在庫金額

部門	達成状況	達成成否
本社営業	目標値より103%オーバー	×
東京支店	目標値より72%オーバー	×

⑦ 環境負荷低減情報提供数

部門	達成状況	達成成否
本社営業	目標達成率37.5%	×
東京支店	目標達成率128%	○
名古屋営業所	目標達成率189%	○
富山営業所	目標達成率500%	○

⑧ 環境負荷低減商品開発数

部門	達成状況	達成成否
技術開発	開発できず	×

⑨ グリーン調達品目拡大数

部門	達成状況	達成成否
総務	目標達成率233%	○

⑩ 機械稼働率

部門	達成状況	達成成否	
大宮工場	A機	目標達成率103%	○
	B機	目標達成率103%	○
	C機	目標達成率97%	×
高倉工場	D機	目標達成率104%	○
	E機	目標達成率102%	○
	F機	目標達成率110%	○
大宮工場	G機	目標達成率109%	○
	H機	目標達成率110%	○
	I機	目標達成率110%	○
	J機	目標達成率105%	○
	K機	目標達成率106%	○
	L機	目標達成率96%	×

6 今後の取り組み

今後の活動方針ですが、50期より取り組みを開始している業務に密着したプラスの環境側面への取り組み強化、及び法規制順守のさらなる強化の2点を重点事項として活動してゆく所存です。

企業の環境保全活動への真摯な取り組みは、ますます重要視されてきており、そのような社会情勢の中、当社も「地球環境保全をベースとした企業活動を行う」という企業理念に則り、活動を実施してゆきたいと思えます。

当社環境マネジメントシステムの継続的改善に向けて、今後とも邁進して参るつもりであります。その活動の成果は今後とも引き続き、環境報告書にて広く、外部に公開させていただきたいと考えています。

Life care & Produce



株式会社

カナエ

本 社 〒535-0031 大阪市旭区高殿4丁目16番11号
TEL(06)6954-7151(代) FAX(06)6954-7196
東 京 支 店 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目11番5号(月星ビル3F)
TEL(03)5566-4811(代) FAX(03)5566-4817
名古屋営業所 〒462-0843 名古屋市北区田幡2丁目5-12(黒川ターミナルハイツ305)
TEL(052)915-3371(代) FAX(052)915-3373
富 山 営 業 所 〒939-8208 富山市布瀬町南2丁目10番地14(ウイズ光陽1-A)
TEL(076)492-8708(代) FAX(076)493-0405

U R L <http://www.kk-kanae.jp>